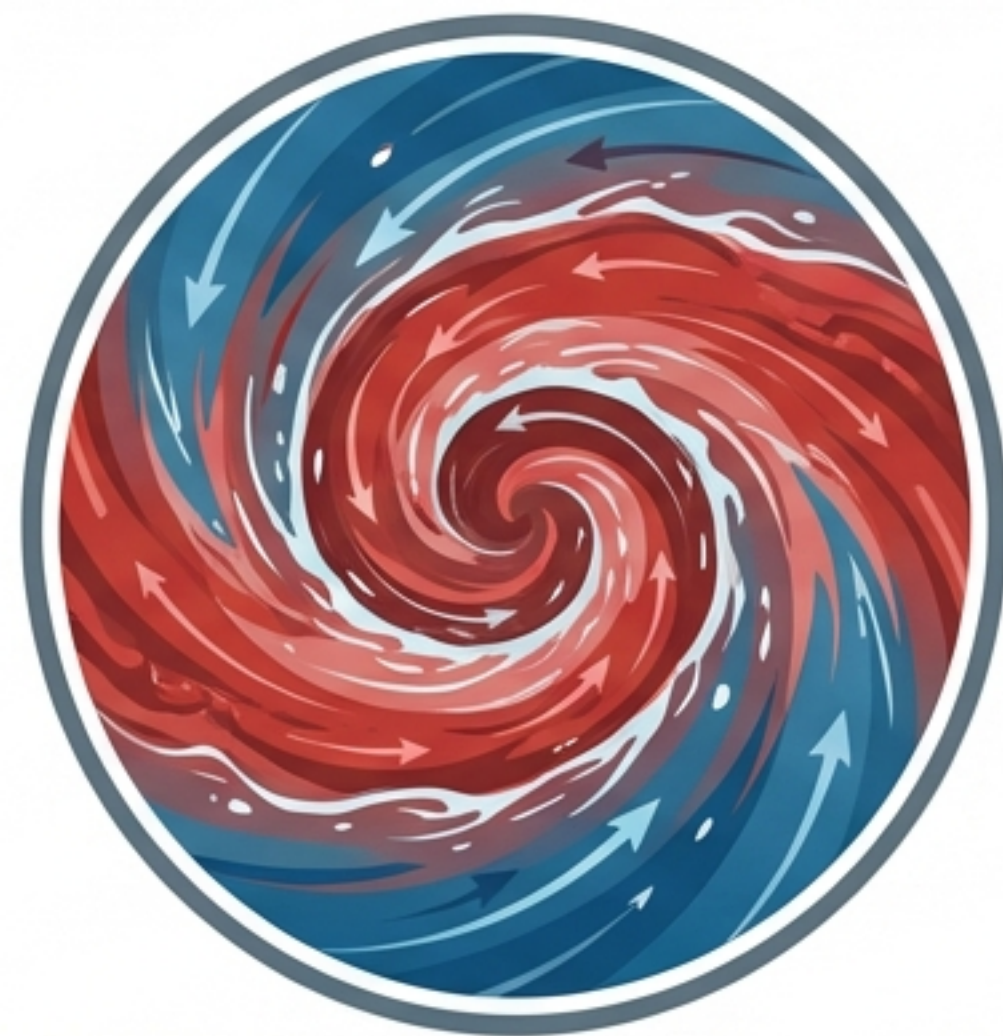


なぜ「転換点」狙いは失敗するのか？

相場の本質を突く「川と渦」の理論

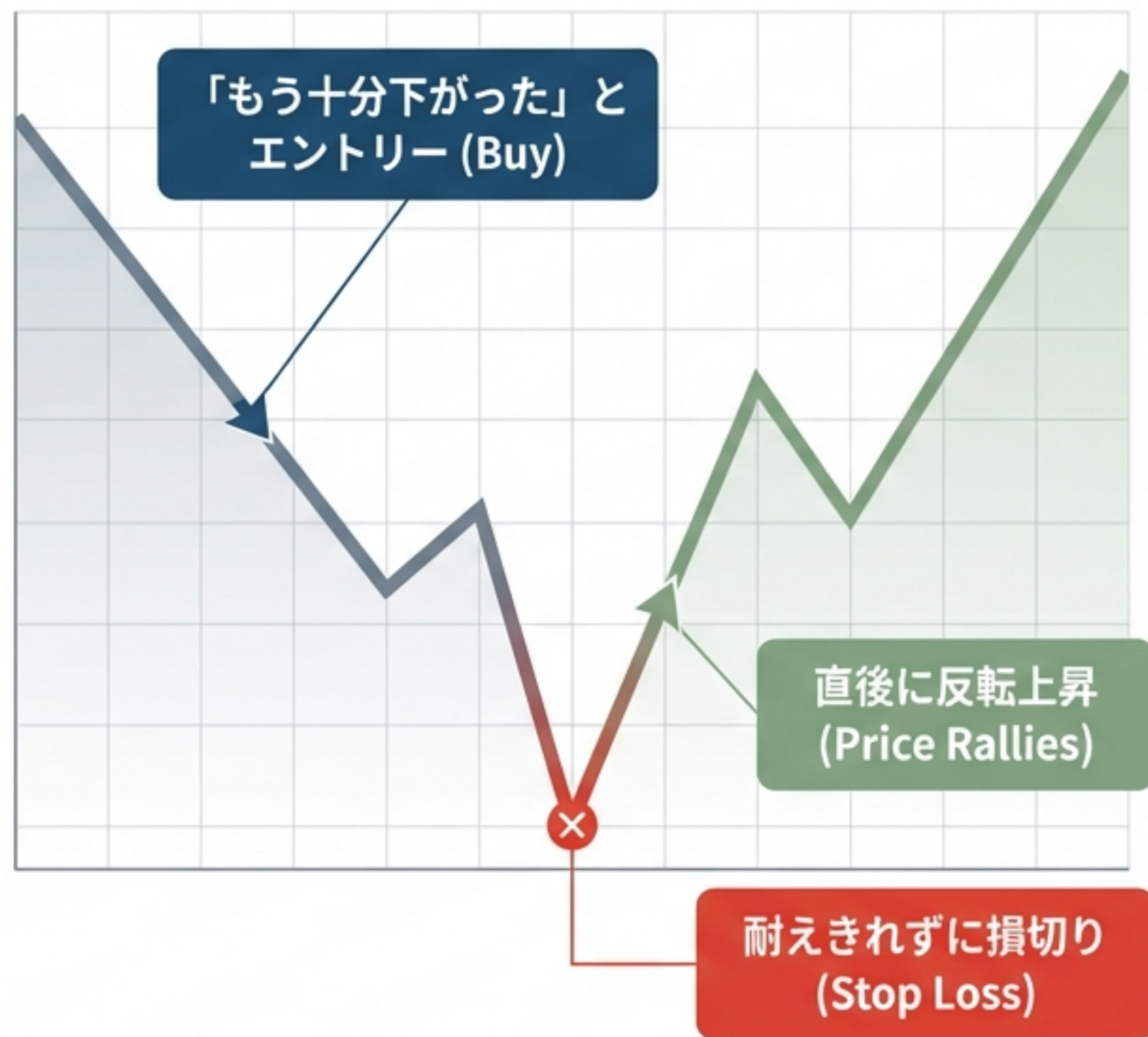
- 多くのトレーダーが陥る「損切り貧乏」の罠。
- 方向は合っているのに、タイミングで負ける理由。
- 複雑なマルチタイムフレーム分析を、たった一つの「たとえ話」で完全攻略する。



「損切りした直後に反転した…」という経験

あるあるの失敗パターン：

- 「もう十分下がった」と思ってエントリー。
- さらに価格が下がり、耐えきれずに損切り。
- その直後、まるで待っていたかのように相場が反転上昇する。



なぜ起こるのか？

- あなたの「方向予測」は間違っていないかもしれない。
- 間違っているのは「物理法則（流れの力）」への理解だ。

上位足は「川の本流」である

本流（日足・4時間足）の特徴：

- 流れる方向がはっきりしており、簡単には止まらない。
- 大量の注文と市場参加者の意思が作り出す巨大なエネルギー。

残酷な真実：

- 個人の資金力でこの流れを変えることは不可能。
- 「自分のエントリーで流れを変えられる」という勘違いを捨てること。

上位足 (Higher Timeframe)

本流 (Main Stream)

執行足の逆行は「一時的な渦」

なぜ逆行（下降）するのか？

- 本流が変わったわけではない。
- 利確の売り、短期筋の逆張り、ポジション調整など、「岩」や「岸」に当たって水が一時的に逆回転しているだけ。

渦（執行足）の特徴：

- 見た目は「流れが変わった」ように見える。
- しかし、本流のエネルギーには勝てない。
- これは「転換」ではなく「調整」である。



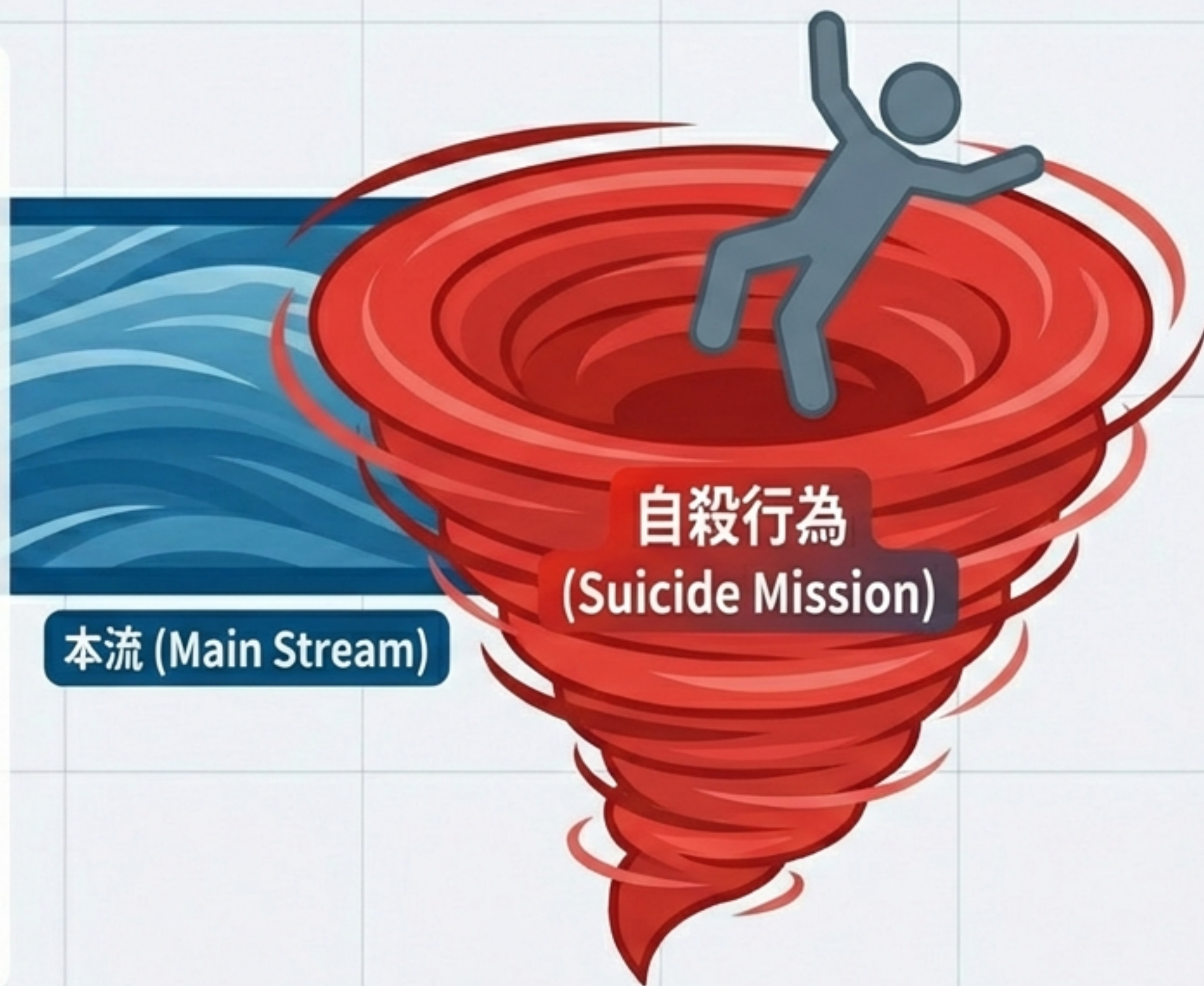
最大の過ち：渦の中に飛び込むこと

「落ちるナイフ」を掴む心理：

- ・ 執行足でグイグイ下がっている時に、「そろそろ反転するはず」と期待して買う。
- ・ これは、勢いよく回転している渦に飛び込み、本流を止めようとする自殺行為。

結果：

1. さらに渦が強まる（想定外の安値更新）。
2. 含み損に耐えられず損切り。
3. その直後、渦が消滅して本流に戻る。



狙うべきは「渦が弱まる瞬間」

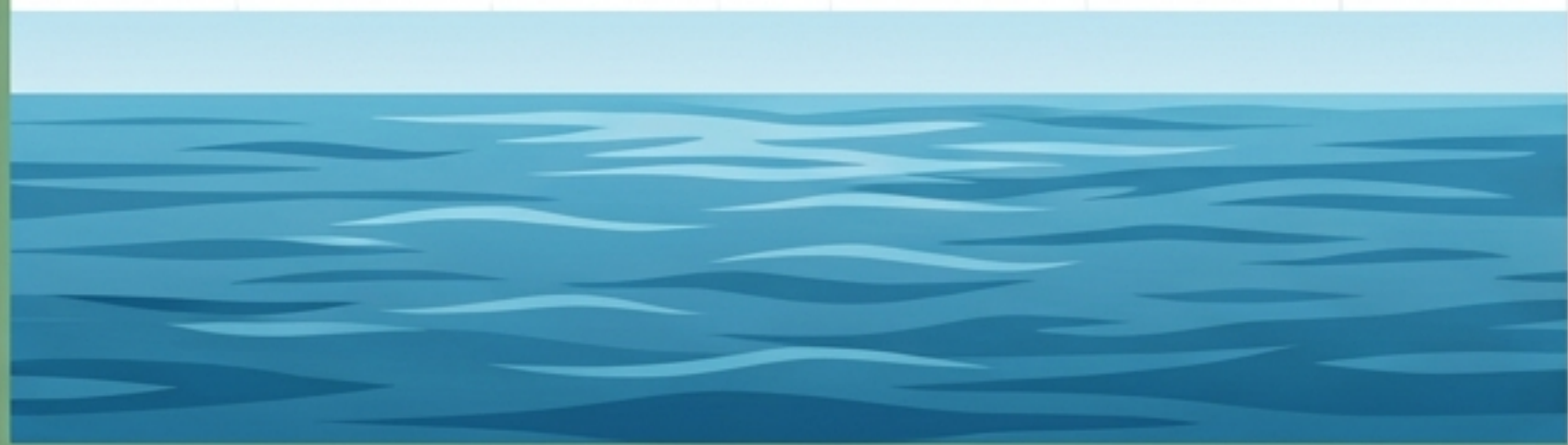
戦ってはいけない (Do Not Fight)



戦ってはいけない場所：

- 渦が勢いよく回っている最中（安値を更新し続けている時）。

待つべきサイン (Wait for this)



待つべきサイン：

- 勢いよく回っていた流れが鈍くなる。
- 水面が一瞬、静かになる。
- 本流に吸い戻される準備が整うタイミング。

鉄則：焦って飛び込むな。ちゃんと弱まるのを「待つ」ことが仕事。

チャートで見る「渦の終わり」



相場において「渦が弱まる」とはどういう状態か？

具体的なシグナル：

1. 安値更新が止まる：下落の勢いが失速。
2. レンジ形成：同じ価格帯を行ったり来たりする。
3. チャートパターン：ダブルボトムや逆三尊の出現。

これが「止まる」フェーズ。ここで初めてエントリーの準備をする。

エントリー：本流に戻る瞬間



いつエントリーするか？

- 水が本流（上位足の方向）に引き戻され始めた瞬間。

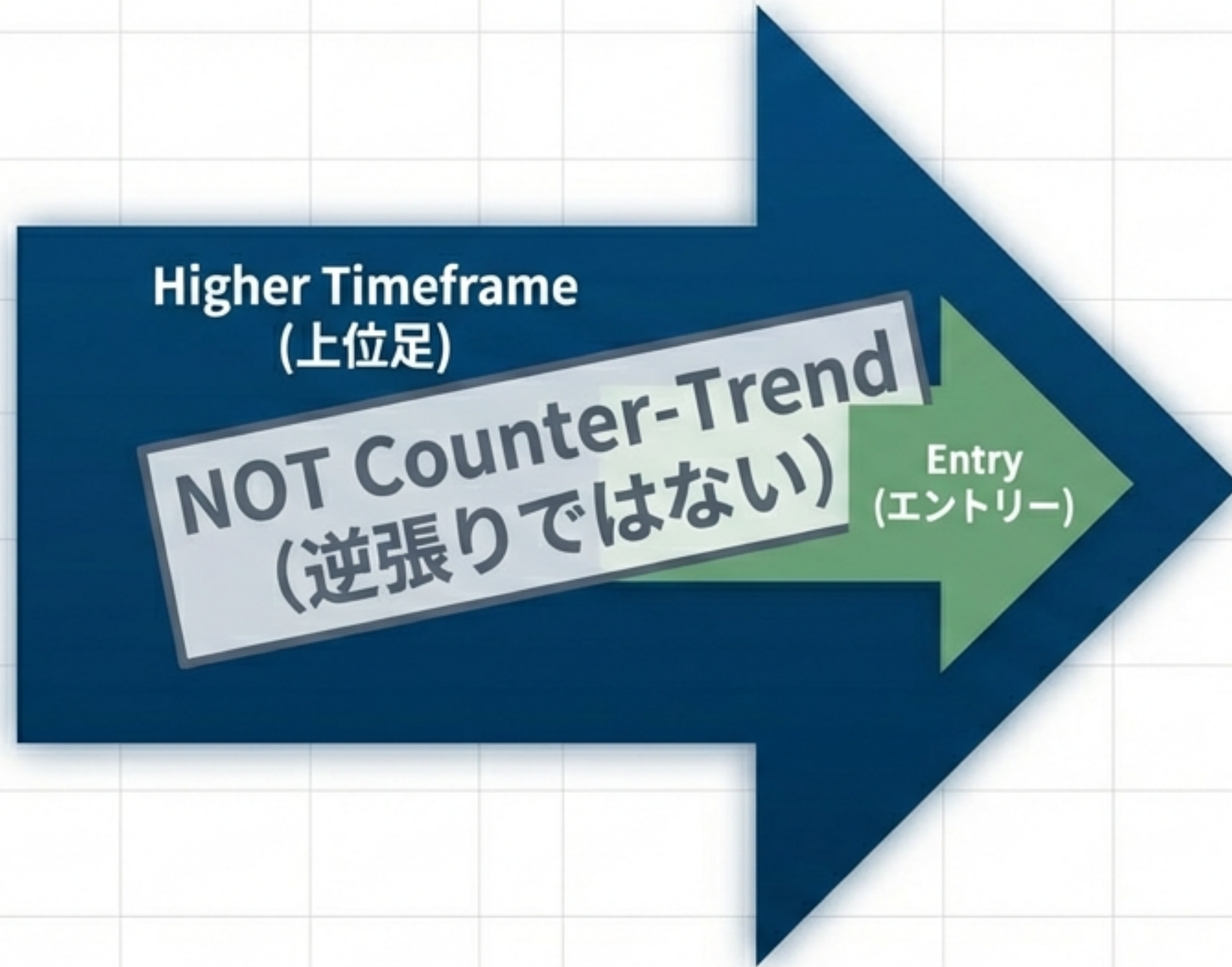
テクニカル上のトリガー：

- レンジの上抜け。
- 戻り高値のブレイク。
- 高値切り上げ・安値切り上げの確定。

意味合い：

- 上位足では順行（本流に乗る）。
- 執行足では転換直後（渦の消滅）。
- これが最も理にかなったエントリーポイント。

これは「逆張り」ではない



多くの人が誤解しているが、この手法は逆張りではない。

理由：

- 渦（逆行）そのものを狙っているわけではない。
- 本流（上位足）に戻る動きを狙っている。

順張りトレードの真髄：

- 「順行トレードの入り口」を、「執行足の転換点」で捉える。
- 大きな流れに従うからこそ、勝率が高まる。

迷いを消す「論理的な損切り」



この手法の最大のメリットは、撤退ラインが明確なこと。

損切りルール：

- 渦が終わったはずなのに、再度安値を更新した場合。
- 「あ、まだ渦は終わっていなかった」＝即撤退。

感情を排除する：

- お祈りトレードは不要。
- 相場が「間違い」を証明した時点で、ルール通りに切るだけ。

トレード手順のまとめ



1. 本流を確認する（上位足）

- 川はどちらに流れているか？（上昇トレンドか？）



Wait

2. 渦の減速を待つ（執行足）

- 安値更新が止まり、レンジやダブルボトムを作っているか？
- 焦らず「止まる」のを待つ。



Action

3. 本流への回帰に乗る（エントリー）

- 戻り高値やレンジをブレイクした瞬間にエントリー。
- 損切りは直近安値の下に置く。

流れを変えようとするな、流れに乗れ



- トrend転換が苦手な人は、無意識に「相場を動かそう」としている。
- 勝ち続けるトレーダーの思考法：
 - 流れに逆らわない。
 - 流れが戻るのを「待つ」。
 - 戻り始めた最初に乗る。
- 結論：
 - 渦の中で必死に戦うのをやめて、本流に身を任せよう。
 - それがトレンド転換を味方につける唯一の方法だ。

「川と渦」トレード・完全要約



本流 (Trend): 逆らえない巨大な力



**渦 (Correction):
一時的な逆行。飛び込むな**



**シグナル (Signal):
安値更新停止 → レンジブレイク**



**鉄則 (Rule): 渦の終わりを待ち、
本流への回帰を狙う**